研究成果報告書 科学研究費助成事業

元 年 今和 6 月 1 8 日現在

機関番号: 12601

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2014~2018

課題番号: 26285073

研究課題名(和文)貨幣の多元性についての国際共同研究:世界史における貨幣間分業とその比較

研究課題名(英文) International Cooperative Research on the Multiplicity of Money: Division of

Labour among Monies and its Comparison in the World History

研究代表者

黒田 明伸 (Kuroda, Akinobu)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号:70186542

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,500,000円

研究成果の概要(和文):2014年度ハーバードでの会合にて東アジア史を事例に市場と制度の関連を論じ、2015年京都で開催された17回世界経済史学会での部会とワルブルクでの会合にて貨幣の多元性の国際比較をし、2016年パリでの会合にて交換の多様性から貨幣の多元性を比較史的かつ学際的に議論し、2017年ウィーンにて貨幣統合と地域通貨を歴史的に論じ、2018年パリにてこれまでの総括の国際ワークショップを開催し、成果をMITで開催された18回世界経済史学会で披歴。交換の多様性が貨幣の多元性をもたらすため、我々が常識としている一国一通貨制度の方がごく近代に形成された特異なシステムであるという認識が国際的に広まりつつある。

研究成果の学術的意義や社会的意義 単一貨幣を所与のものとして現在の社会科学は理論を構築しているが、19世紀まで人類の過半は複数の貨幣を使 用して交換を成り立たせてきた。「悪貨が良貨を駆逐する」というような貨幣間の代替性を前提にした枠組みを 超えた、交換の多様性に基づく貨幣の間の補完性の概念は理論を人類史理解に近づけるものである。貨幣が地方 的に自生することの普遍性を歴史的に論ずる黒田の多元的貨幣理解は現地通貨運動の理論家ならびに実践家からも着目されている。また、貨幣の多元性理解は、貨幣を社会的な回路としてとらえることと結びついているが、情報技術者たちがネット上の貨幣を考える際にそれらを参考としており、一定の影響を与えつつある。

研究成果の概要(英文): This project organised international workshops at Harvard in 2015, at Warburg in 2015, at Paris in 2016 and 2018, at Vienna in 2017, and held sessions in WEHC Kyoto 2015, in WEHC Boston 2018. Through the sessions and workshops mentioned above, a new idea that plural monies are necessary to mediate the variety of exchange is internationally spreading. According to it, only recently, we recognise that the notion of a single currency under a sovereign authority gained common ground.

研究分野:経済史

キーワード: 貨幣 世界史 国際共同研究 多元性 補完性 交換 地方 回路

1.研究開始当初の背景

貨幣が多元的に存在していること、かつ貨幣の間では代替的ではなく補完的な関係が世界 史においてはむしろ多数であったことが近年明らかにされつつあるが、米国科学アカデミ ー会員の人類学者 Jane Guyer は同アカデミー紀要の中で研究代表者黒田の業績をその動 向における先駆的な仕事として特筆している(Jane Guyer, 'Soft Currencies, Cash Economies, New Monies: Past and Present', Proceedings of the National Academy of Sciences of the United State of America, 109 巻 7 号, 2012)。国家領域とは異なる地域 性が貨幣において歴史上普遍的に現れることは、現状の貨幣制度を考える研究者、ことに 現地通貨運動に関心をよせる人々から注目され 2013 年 6 月にハーグで開催された第2 回国際補完貨幣学会に基調講演者の一人として黒田は招待された。近年黒田がパリ第十大 学、チュービンゲン大学、パリ高等師範学院に客員教授として招聘されているように、欧 州での多元的貨幣史理解への関心は高く、協同する研究者は少なくない。ユーロ危機によ る通貨統合への疑念が後押ししているともいえる。貨幣の多元性と補完性を軸とする黒田 の貨幣史理解は中国における事例を中核として発展させてきたものであるが、その中国で 中国語訳論文が公刊されさらに陳暁栄『民国小区域流通貨幣研究』(北京、中国社会科学出 版社、2012)のように黒田の貨幣理解に依拠した単著が公刊されているようにその影響力 を強めつつある。

本研究計画は直接には黒田を代表とした科研基盤(B)「取引の一時性・季節性そして空間性がもたらす貨幣間の補完性についての国際共同研究」(平成22年度-25年度)を引き継ぐものである。同プロジェクト中、黒田はパリ高等師範学院、東京大学、イェール大学、パリ財経学院で毎年度国際ワークショップを開催したが、その中で特に明らかになったのは下記の点である。貨幣の多元性の重要性を理解できなかったのは、農民間の取引の独自性を無視したことと、通貨の非還流性をみおとしたことによる。二つの要素は関係し合う。農民同士の取引規模は小さく、ことに匿名的な売買は大きくなることはむずかしいが、匿名的取引を成り立たせる通貨は小額ほど回収が困難で滞留しやすいからである。本研究では、匿名的通貨と指名的信用、現地通貨と地域間決済通貨、この二つの軸を手がかりにして、貨幣の地域性とそこにみられる市場と社会関係さらに行財政機構の相互規定のありかたに焦点をあてる。

2.研究の目的

なぜ貨幣の統合は進まないのか。統合は取引費用を軽減するように考えられがちだが、実際には既存貨幣間の分業を代替できないまま解消してしまうからである。貨幣間が分業関係にあるのは貨幣の質に統合しきれない差があることによる。貨幣の質は二つの指標で測ることができる。第一に、通貨のもつ匿名性と信用の指名性のどちらにどれほど振れているか。第二に、地域内の取引を媒介する貨幣と地域間の取引を決済する貨幣との関係がどれほど固定的ないしは変動的か。国際共同研究により二つの指標から世界史上の貨幣制度比較を行い上記の仮説の有効性を確かめ、その検証を通して市場・社会関係の二分論を越えた両者の相互規定性を明らかにする。

3.研究の方法

プロジェクトは二階層からなる。 貨幣の多元性に関わるワークショップを国外研究協力者との協同により主として海外で開催する。5 回の国際ワークショップをそれぞれ重点題目に沿って設定。連携研究者、国外研究協力者の他に幅広い領域から題目に沿った講演者

を招待し議論を学際的に広げるようにつとめる。 ワークショップでの議論を支えるため、 貨幣間の補完的性格を示す基層での事実の発見、確認を進める。仏・英が残した植民地期ア ジア・アフリカの現地貨幣使用についての報告、多元的貨幣に支えられた清朝期中国の伝統 帳簿、それらの収集・整理により基層社会での取引における貨幣使用の現実から貨幣の多元 性の構造をうかびあがらせる。

4. 研究成果

問題意識を共有する仏・英・独・蘭・瑞・露・伊などの研究者の協力を得て、東亜・南亜・アフリカ・欧州・ロシア・南米を比較し、かつ理論経済学者もまじえて、匿名的通貨と指名的信用、現地通貨と地域間決済通貨、この二つの軸から、貨幣の多元性と交換の多様性の関係を議論するワークショップを、ハーバード、ワルブルク、ウィーン、パリ(2度)にて開催し、その成果を 2018 年 8 月 MIT で開催された第 18 回世界経済史学会にて部会を主宰し披歴した。貨幣間の補完性という視角から貨幣現象を見直す黒田の研究は国際的に認知されてきており、黒田はパリ高等師範学院の客員教授として貨幣の多元性について研究し招へいされ、プリンストン高等研究所にて客員研究員として中国貨幣史を多元的貨幣の視点から再検討する研究に従事した。

黒田は中国国家図書館分館・中国社会科学院経済研究所・上海市档案館・香港市档案館・国史館・中央研究院歴史語言研究所・大英博物館・大英図書館・英国銀行史料館・フランス国家図書館・フランス銀行史料館などで世界貨幣史に関わる資料調査を行ったが、特筆すべきは、2016 年 9 月にキシナウのモルダビア歴史博物館所蔵のキプチャク汗国の1 4 世紀中葉の要塞跡から発見された 65 本の銀棒を実見したことである。200 グラム(5両)前後の重量と泡状の底面から同時代の中国の影響が明らかであり、元朝領内の食采から西方汗国へ送金された銀が西欧に及びユーラシア大の銀流通をもたらした、とする黒田の仮設を支持するものである。論文 はその仮説を中文と英文で披歴したもの。

黒田の貨幣理解は中国貨幣史の事例より導かれた部分が大きいが、中国貨幣史の一つの特徴は銀を計数貨幣としてではなく秤量貨幣として使用しつづけたことにある。銀両制度は歴史的に絹の貨幣使用を襲ったものであり、記帳単位として機能するため、物理的な銀流通とは乖離する傾向にあったことを共著で明らかにした。また地方的に流通する小額通貨への依存が中国貨幣史に一貫した現象であるが、論文では中国の小農経営とその一回起性取引志向が農村市場と共存関係にあり、その構造が地方的小額通貨の自生をもたらしていることを論じた。

黒田の多元的貨幣理解は現地通貨運動の理論家ならびに実践家からも着目されている。 ハーグで開催され黒田が基調報告をおこなった 2nd International Conference for Complementary Currency System の主要論考が共著 として刊行され、黒田は貨幣が地 方的に自生することの普遍性を歴史的に論じている。

5 . 主な発表論文等

[雑誌論文](計3件)

Akinobu Kuroda, 'Strategic Peasant and Autonomous Local Market: Revisiting the Rural Economy in Modern China' *International Journal of Asian Studies* 15-2, 2018, 195-227. 查読無 doi:10.1017/S1479591418000049

- <u>Akinobu Kuroda</u>, 'Why and How Did Silver Dominate across Eurasia Late-13th through Mid-14th Century?: Historical Backgrounds of the Silver Bars Unearthed from Orheiul Vechi', *Tyragetia* XI {XXVI} (1). Archaeology, 2017, pp.23-34,查読無

[学会発表](計25件)

<u>Akinobu Kuroda</u>, 'Bad Money Does Not Drive Out Good Money: Complementarity among *Monies* in Global History', School of Historical Studies Colloquial, Institute for Advanced Study, Princeton, 28 Feb 2019

<u>Akinobu Kuroda,</u> 'Another Monetary Economy: A History of Chinese Currencies', East Asian Seminar, Institute for Advanced Study, Princeton, 15 Oct 2018

Akinobu Kuroda, 'Strategic Peasants, Multiple Markets, and Complementary Currencies' 18th World Economic History Congress, Session 'The Variety of Exchange and the Character of Money', MIT, Boston, 2nd August 2018

<u>Akinobu Kuroda,</u> 'Official Paper Money vs Local Native Notes in Modern China: Incompatible Private Paper Money Dominating Rural Markets', 18th World Economic History Congress, Session 'Critical Moments in the Development of Modern Monetary Systems: Crises, Money Doctors, and Reforms', MIT, Boston, 1st August 2018

<u>Akinobu Kuroda,</u> 'Strategic Peasants, Multiple Markets, and Complementary Currencies', Workshop "The Variety of Exchange and the Character of Money" École Normale Supérieure, Paris, 18 May 2018

<u>Akinobu Kuroda,</u> 'Another Monetary Economy: A History of Chinese Currencies', The Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, 23 Feb 2018

Akinobu Kuroda, 'A Unification of Currency Spurred Markets More Stratified: 1935 China under Paper Money Standard' Workshop "Governing Monetary Cooperation: A Historical Approach", Palloti Hous, Vienna, 12 Oct 2017

Akinobu Kuroda, 'A Global Monetary History of Mongol Eurasia: A Mezoscopic Perspective' Workshop "Regions, Networks, and Institutions in Mongol Eurasia: A Meso-Historical Analysis", Hebrew University, Jerusalem, 17 May 2017

Akinobu Kuroda, 'Revisiting the Eurasian Silver Century with New Numismatics Findings', 中国歷史上的白銀問題国際学術研討会, The Macao Science Center, 27 April, 2017

Akinobu Kuroda, 'The Variety of Exchange and the Character of Money', Workshop The Variety of Exchange and the Character of Money, Paris, École Normale Supérieure, 17 Nov 2016

Akinobu Kuroda, 'Why and How Did Silver Dominate across Eurasia Late-13th through Mid-14th Century?: Historical Backgrounds of the Silver Bars Unearthed from Orheiul Vechi', AL XVI-LEA SIMPOZION DE NUMISMATICĂ, Chisinau, National History Museum of Moldavia, 22 Sep 2016

<u>黒田明伸</u> ⁶ 貨幣の多元性と市場の多層性 「工業化前」中国、日本、イングランドを中

心に'、第 68 回法制史学会シンポ'**経済史学と法制史学 経済秩序をめぐる対話の試み'、** 2016 年 6 月 11 日

Akinobu Kuroda, 'The Character of Money: Revisiting Global History from the Viewpoint of Complementarity among Monies', International Workshop 'Writing Global History from Southeast Asian Perspectives: In Honor of Professor Victor Lieberman's 70th Birthday', Osaka University Hall, 16 Dec 2015

Akinobu Kuroda, 'Local Liquidity Premium in History', Workshop 'Conflict Potentials in Monetary Unions', University of Applied Sciences, Warburg, 28 Nov 2015

Akinobu Kuroda, 'The Character of Money: Beyond the Trinity of Monetary Functions', 17th World Economic History Congress, Session 'The Quality of Money', Kyoto, Kyoto International Conference Hall, 7 Aug 2015

Akinobu Kuroda, 'Local Paper Monies Ubiquitous Across Early 20th Century China', 17th World Economic History Congress, Session 'Free Banking Systems', Kyoto, Kyoto International Conference Hall, 5 Aug 2015

Akinobu Kuroda, 'Between Money and Material: Old Chinese Bronze Coins Dominated Medieval Japan', International Conference 'Currencies of Commerce in the Greater Indian Ocean World' McGill University, 24 April 2015

Akinobu Kuroda, 'Dominance of 'Old' Chinese Coins in Medieval Japan: The Self-Organization of Money', Harvard Yenching Institute, 14 April 2015

<u>Akinobu Kuroda,</u>'Re-Construct Global Monetary Historiography to Reconsider What Money Is', Princeton East Asian Studies Program, Princeton U, 12 March 2015

Akinobu Kuroda, 'The Characters of Market: Comparison between China and Japan in Preindustrial Era,' Workshop "Revisit Markets and Institutions in Early Modern East Asia: Beyond Exceptionalism and Generalisation", Harvard Yenching Institute, 6 Mar 2015.

- ② Akinobu Kuroda, 'Monetary Theory, Monetary History, and Global History', Workshop "Is Global History Truly Global? : Positionality of Historians", Humboldt U, 5 Dec 2014
- <u>Akinobu Kuroda</u>, 'The Character of Money: Why Cannot Currency be Unified', Economic History Seminar, U of Pennsylvania, 23 Oct 2014
- <u>Akinobu Kuroda,</u> The Character of Money: Differentiation Ubiquitous in History, The Money Talks Symposium, Yale U. 12 Sep 2014.
- <u>②Akinobu Kuroda</u>, 'Actual Monetary Usages in 19th Century China: Some Reflections from Account Books' International Conference 'Coin of the Realm: Money and Meaning in Late Imperial China', CGIS south, Harvard U, 18 Apr 2014

[図書](計3件)

Georgina Gomez and <u>Akinobu Kuroda</u>, *Monetary Plurality in Local, Regional and Global Economies*, Routledge, London, 2018, 114-122

Hong Kong Maritime Museum and <u>Akinobu Kuroda</u>, *The Silver Age: Origins and Trade of Chinese Export Silver* 白銀時代——中國外銷銀器之來歷與貿易, Hong Kong Maritime Museum, 2017, pp.109-121

平尾良光・<u>黒田明伸</u>『大航海時代の日本と金属交易』思文閣出版、2014 年、18 20 頁

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

[その他]

ホームページ等

18 回世界経済史学会にて世界貨幣史の部会主宰

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=SunAug050553332018

ウィーンにて国際ワークショップ主宰

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=WedOct180427052017

パリ高等師範学院にて国際ワークショップ主宰

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=FriDec21042382016

モルダビア国立歴史博物館にて招待講演

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=SunSep250501232016

ハーバード大学にて国際ワークショップ主宰

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=SunMar080852512015

イェール大学主催の貨幣論学会にて招待講演

http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=SatSep131246102014

- 6. 研究組織
- (1)研究分担者なし
- (2)研究協力者

研究協力者氏名: デペロ、ジョルジュローマ字氏名: Georges Depeyrot

研究協力者氏名: ボウボー、パトリス ローマ字氏名: Patrice Baubeau

研究協力者氏名: ゴメス、ジョルジーナ

ローマ字氏名: Georgina Gomez

研究協力者氏名: マルドロ、クレイグ

ローマ字氏名: Craig Muldrew

研究協力者氏名: グラブ、ファーレイ

ローマ字氏名: Farley Grubb

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。
